

令和7(2025)年度のESD業務 事務局案 説明資料

2025年5月28日

第1回 EPO中部・中部地方ESD活動支援センター運営委員会

2025年度中部地方ESD活動支援センター主催イベント／会合案

区分		エリア	設営	時期	参加者数	テーマ／内容等	連携先／関係者／登壇者等
多様な主体の連携促進、交流機会提供	学び合いの場①	富山	リアル	未定	10～15名程度	R6年度成果に基づく検証ESDワークショップ(ローカルSDGsへの貢献観点での学び合いの場づくり企画)	- 自治体職員、学校教職員、社会教育主事、等を想定 - PECとやまなど
	学び合いの場②	福井 坂井市	リアル	8/29	20～30名程度	R6年度成果に基づく検証ESDワークショップ(ローカルSDGsへの貢献観点での学び合いの場づくり企画)	- 坂井市環境推進課、エコプランふくいなど - ゼロカーボンWS5回シリーズの1回として開催
	実践活動	愛知	リアル	9～10月頃	30名程度	学び合いの場①②と検討会の議論を踏まえた実践:SDGs貢献学び合い場づくりワークショップ	豊田市環境政策課、eco-T「エコット」豊田市環境学習施設、インタープリターなど
	有識者検討会	名古屋	リアル	6/2	3名	R6年度の検証と今年度の計画検討	- 古澤礼太 中部大学国際ESD・SDGsセンター長 教授、中部ESD拠点協議会事務局長 - 水上聡子 EPO中部運営委員、アルマス・バイオコスモス研究所代表 - 堺 勇人 EPO中部運営委員、一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま(PECとやま)事務局長
		富山		7/23		学び合いの場企画ワークショップ結果の検証、実践活動の検討	
名古屋		9～10月頃		活動のとりまとめ、冊子と動画の作成方針			
ESD/SDGs推進NW地域フォーラム		名古屋	ハイブリッド	9～10月頃	30名程度	第7期共通テーマ:社会と学校のESDネットワーク 2025年度テーマ「ESD:探求学習と地域連携」 探求学習と地域の連携に関する話題提供とディスカッション	- 基調講演(案)名古屋市立大学 松村智史 准教授* - 地域ESD拠点など、学び合いプロジェクト有識者検討会メンバー - 話題提供:飯田市、しいた高校生ESD塾(都留文化大学 田開準教授など) - コメンテーター:加藤隆弘先生(金沢大学)
自然資産を活かしたESDダイアログ		(尾鷲)	リアル(オンライン併用?)	10/17、18	30名程度	第7期共通テーマ:山と水と人間と 2025年度テーマ「仮」南紀からのESD発信」 1日目ESDダイアログ 話題提供、取組発表、ディスカッション 2日目エクスカッション	- 尾鷲市役所、輪内中学校、尾鷲高等学校など - 環境省自然公園事務所など - 大台ヶ原、杉谷ユネスコエコパークなど (オンライン連携:例として、豊田市自然観察の森、藤前干潟……など?) - 基調講演、コメンテーター 水谷瑞希先生(信州大学)
SDGs学生サミット		(春日井)	オンライン配信	2月頃	100名程度	ユースに対するSDGs活動交流を通じたESDの場の設営 ・学生、生徒の取組発表、社会人の話題提供 ・交流ディスカッション	- SDGs関連活動に取り組む大学生、高校生、地域連携など - 基礎自治体、企業、NPO等のSDGs取組 - 運営委員に対するディスカッションファシリテーターの依頼 - 総括:伊藤恭彦運営委員会座長(名古屋市立大学)

多様な主体の連携促進、交流機会提供

2025年度学び合いプロジェクト 目標

ワークブック活用パッケージR6の成果の公開

⇒ワークブック活用展開・R7パッケージ冊子と動画のブラッシュアップと公開

ESDワークブックを活用して企画運営するために
～パッケージスライドと説明動画をご活用ください！～

ESDを実施する企画運営者スキルアップのための《ワークショップパッケージスライド》と《ワークショップパッケージ説明動画》を公開しています。是非ご活用ください。

ESD学び合いの場企画ワークショップパッケージスライド《3,698KB》

セミナーなどの企画運営者を育てる！

気候変動教育～
ESD学び合いの場づくり企画ワークショップ
【やり方と解説】

「ESD学び合いの場づくりワークブック」
を使って・・・



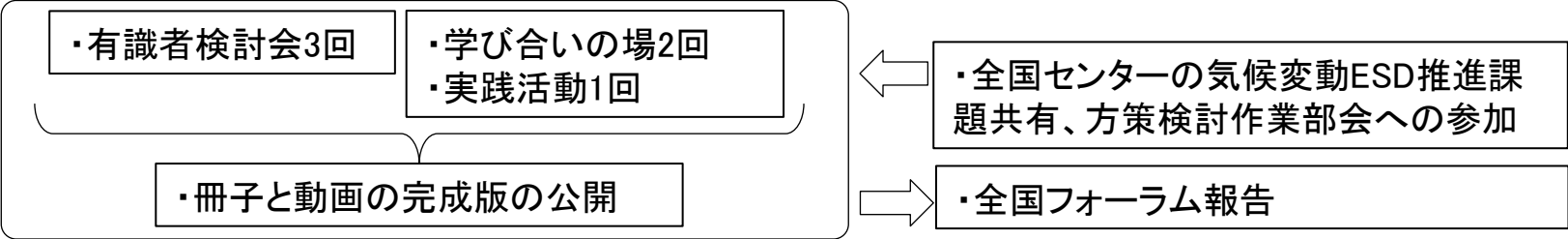
環境省EPO中部・中部地方ESD活動支援センター
学び合いプロジェクト有識者検討会（2025年3月）

▼ワークショップパッケージ説明動画はこちらから

A thumbnail for a YouTube video titled '気候変動教育～ESD学び合いの場づくり企画ワークショップ～'. The video is presented in a three-panel format. The left panel, titled '企業でも' (Even in companies), shows a man in a suit and discusses climate change and fossil fuel combustion. The middle panel, titled '福祉協議会でも' (Even in welfare associations), shows a woman in a uniform and discusses the importance of community. The right panel, titled '自治会でも' (Even in neighborhood associations), shows an elderly man and discusses the importance of local community. At the bottom, there is a section titled 'もちろん学校でも' (Of course in schools) showing a teacher and students. A large red play button is in the center. The video is available on YouTube, as indicated by the '見る YouTube' button at the bottom left. The text '持続可能な社会のための「学び合いの場」が大切！' (The importance of 'learning together' for a sustainable society!) is at the bottom right.

<https://www.epo-chubu.jp/tool/esdworkbook>

2025年度学び合いプロジェクト 計画



学び合いプロジェクト有識者検討会
古澤礼太 中部大学国際ESD・SDGsセンター准教授、中部ESD拠点協議会事務局長
水上聡子 EPO中部運営委員、アルマス・バイオコスモス研究所代表
堺 勇人 EPO中部運営委員、一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま（PECとやま）事務局長
原 理史 中部地方ESD活動支援センター、中部大学国際ESD/SDGsセンター研究員
【オブザーバー】 環境省 中部地方環境事務所環境対策課
【事務局】 清本三郎 EPO中部統括

区分	エリア	設営	時期	参加者数	テーマ／内容等	連携先／関係者／登壇者等
学び合いの場①	富山	リアル	7/23or24	10～15名程度	R6年度成果に基づく検証ESDワークショップ (ローカルSDGsへの貢献観点での学び合いの場づくり企画)	・ 自治体職員、学校教職員、社会教育主事、等を想定 ・ PECとやまなど
学び合いの場②	福井 坂井市	リアル	8/29	20～30名程度	R6年度成果に基づく検証ESDワークショップ (ローカルSDGsへの貢献観点での学び合いの場づくり企画)	・ 坂井市環境推進課、エコプランふくいなど ・ ゼロカーボンWS5回シリーズの1回として開催
実践活動	愛知	リアル	9～10月頃	30名程度	学び合いの場①②と検討会の議論を踏まえた実践:SDGs貢献学び合い場づくりワークショップ	・ 豊田市環境政策課、eco-T「エコット」 豊田市環境学習施設、インタープリターなど
有識者検討会	名古屋	リアル	6/2	3名	R6年度の検証と今年度の計画検討	・ 古澤礼太委員、水上聡子委員、堺 勇人委員
	富山		7/23 (or24)		学び合いの場企画ワークショップ結果の検証、実践活動の検討	
	名古屋		9～10月頃		活動のとりまとめ、冊子と動画の作成方針	

学び合いの場①②、実践活動【企画案】 ワークショップ・SDGsの学びの場をつくる！

目的： ローカルSDGsへの貢献観点での「学び合いの場づくり」の企画を学ぶ。

企画運営者のESDスキルアップを図ります。地球温暖化防止活動などの普及啓発や出前授業などで、気候変動教育としての機会を充実させるため、様々なESDとしての学び合いの場の企画運営スキルの向上を目指すワークショップを実施する。

学び合いの場①

対象 自治体職員、学校教職員、社会教育主事、等を想定

期日 2025年7月～11月ごろ 2時間程度

場所 富山県内

主催 中部地方ESD活動支援センター

協力 PEC富山

学び合いの場②

対象 地域市民（ゼロカーボンWS5回シリーズの1回）

期日 2025年8月29日、19時～21時

場所 福井県坂井市

主催 福井県坂井市役所

共催 中部地方ESD活動支援センター

協力 アルマス・バイオコスモス研究所

実践セミナー（実践活動）

対象 eco-T「エコット」豊田市環境学習施設職員
同インタープリター

期日 2025年9月～10月（想定）2時間程度

場所 愛知県豊田市

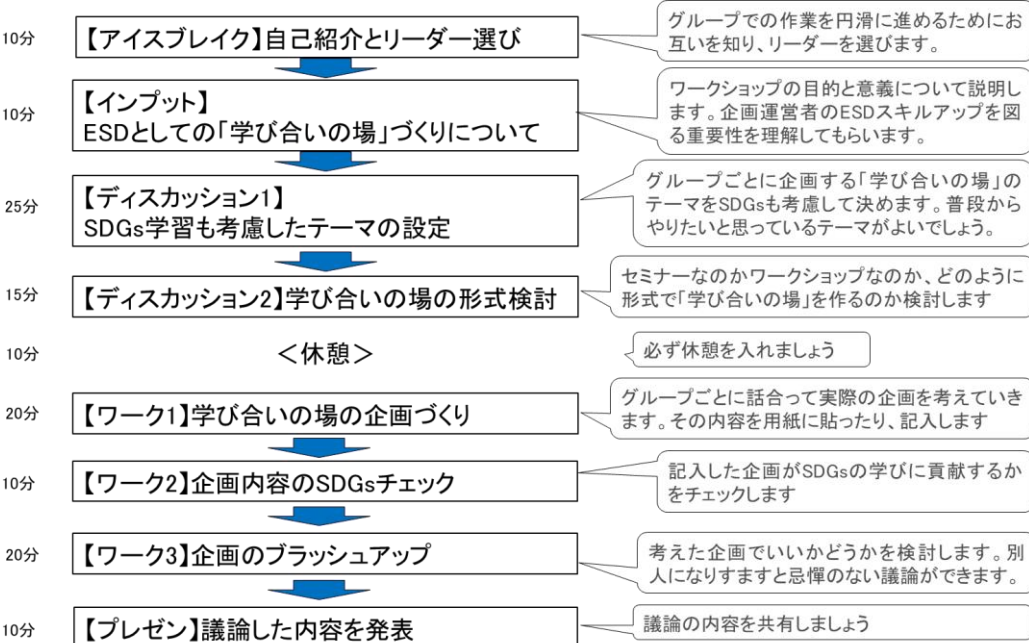
主催 中部地方ESD活動支援センター

協力 豊田市環境政策課

ワークショップのミッション

気候変動教育などESD学び合いの場の企画書を作る

プログラム案



- ・右の用紙に記入したり付箋を貼ったりしてESDの場の企画書案を作成します。
- ・全部で120分程度の時間枠を想定しています。
- ・4～5人のグループいくつかで行うことを想定しています。
- ・中部地方ESD活動支援センターが作成した「ESD学び合いの場づくりワークブック」を教材として使います。



教材「ESD学び合いの場づくりワークブック」

ESD学び合いの場づくり 企画ワークシート(Vr.2)

必要な「人」「もの」「金」を想定しながら、学び合い企画のアイデアをメモしてみよう。

テーマ	学びの目標
	想定される参加者
学び合い形式	☐ 講演 ☐ 発表会 ☐ パネルディスカッション ☐ グループディスカッション ☐ ゲーム ☐ 試食 ☐ グループワーク ☐ 個人ワーク ☐ 視察・観察会 ☐ 屋外ワーク ☐ 展示・ブース ☐ その他()
●企画内容	●必要なもの、考慮すべきこと
日時・場所	もの) こと) 金) など
プログラム	人) こと) もの) 金) など
主催と協力者(共催・後援)	人) 金) など
人あつめ(参加者)	人) こと) 金) など

その他の主催イベント、
その他の事業の開催について

ESD推進ネットワーク地域フォーラム（9月～10月頃）

●テーマ：ESD：探求学習と地域連携」

探求学習と地域の連携に関する話題提供とディスカッション

●目的：ESD活動の情報共有と意見交換

●時期：2025年9月頃13:00～15:40

（ふりかえり交流～16:30）

●対象：一般参加者、中部地方ESD拠点、関係ステークホルダー

●開催方法：ウインクあいちなど、ハイブリッド

参考）中部の地域ESD拠点登録団体

- ①一般社団法人 長野県環境保全協会
- ②信州ESDコンソーシアム
- ③名古屋ユネスコ協会
- ④「なごや環境大学」実行委員会
- ⑤一般社団法人日本体験学習研究所
- ⑥豊橋ユネスコ協会
- ⑦一般社団法人ネクストステップ研究会
- ⑧石川県ユネスコ協会
- ⑨岐阜県ユネスコ協会
- ⑩中部ESD拠点協議会（国連大学認定RCE Chubu）
- ⑪特定非営利活動法人 地域の未来・支援センター
- ⑫根羽村森林組合
- ⑬特定非営利活動法人大杉谷自然学校
- ⑭特定非営利活動法人エコプランふくい
- ⑮一般社団法人環境市民プラットフォームとやま(PECとやま)
- ⑯勝山市
- ⑰富山ユネスコ協会
- ⑱一般社団法人グローバル愛知
- ⑲加山興業株式会社
- ⑳ななお SDGsスイッチ

プログラム案（内容は仮置き）

第1部＜オープン開催＞

- 基調講演 ESDとしての探求学習の諸課題についての講演
名古屋市立大学 松村智史 准教授

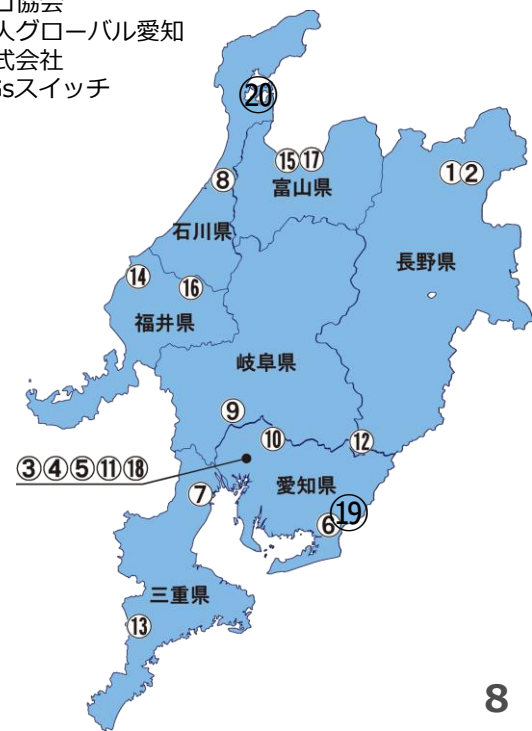
- 話題提供 ①高校の探究学習事例
②地域との連携の事例

第2部＜オープン開催＞

- 交流ディスカッション
- 総括 加藤隆弘 金沢大学教授

第3部＜クローズ開催＞ ○ふりかえり交流

- ・地域ESD拠点による事例報告など
- ・ESD推進ネットワーク 登壇者、地域ESD拠点団体による意見交換
コーディネーター
（案）古澤礼太 中部大学国際ESD・SDGsセンター長 教授



SDGs学生サミット（2月7日開催予定）

- テーマ：ESD：地域・学校と大学連携
- 目的：SDGs活動の発表と議論
- 時期：2026年2月7日（土）13:00～17:30
- コア参加
 - ・SDGs関連活動に取り組む大学生、高校生、高大連携、世代間連携など
 - ・基礎自治体、企業、NPO等のSDGs取組
- 一般対象：ユース（大学生、高校生など）、一般市民
- 開催方法：オンライン
（ハブ：中部大学デジタルアースルーム）

主催：中部地方ESD活動支援センター（環境省EPO中部内）
協力：中部大学中部高等学術研究所、国際GISセンター 問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点（申請中）



コア参加

ユース・学生

SDGs活動に関心のある学生など

社会構成者

SDGsの取組み自治体、企業、団体



YouTube配信

一般参加者

自然資産を活かしたESDダイアログ 山と水と人間と・（仮）南紀からのESD発信

第7期（令和6年度～8年度）共通テーマ：山と水と人間と
主催：中部地方ESD活動支援センター

ジオパーク、ユネスコエコパーク、世界遺産、世界農業遺産等の自然環境地域の中から選定し、環境省の地域資源（国立公園等）と基調講演、話題提供を実施するとともに、参加者による意見交換会やワークショップ等を実施する。

＜ESDダイアログの概要＞2025年度テーマ「仮）南紀からのESD発信」

【主催】中部地方ESD活動支援センター（環境省EPO中部）

【後援】尾鷲市、尾鷲市委員会（想定、要依頼）

○場所：三重県尾鷲市を中心に

○対象：

- ・南紀の自然公園、エコジオパーク、自然資産関係者、地域の教育関係者（対面）
- ・中部地方の自然環境拠点関係者（オンライン併用を検討）

○開催期日 2025年10月17日（金）・18日（土）

○プログラム

1日目ESDダイアログ

- ・基調講演（自然資産活用したESD・地域づくりについて）水谷瑞希先生（信州大学）
- ・南紀、中部地方の自然環境拠点関係者による話題提供
- ・地域の環境教育、ふるさと教育（尾鷲高校、輪内中学校）など、ESD活動報告
- ・パネルディスカッション

2日目エクスカースン

- ・熊野古道センター
- ・みんなの森プロジェクト

他

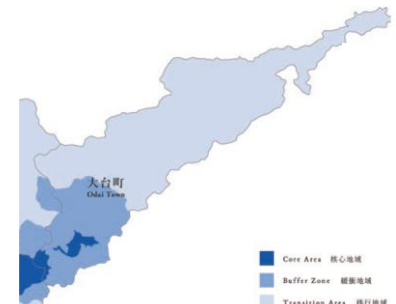
企画内容は調整中



三重県の自然公園
<https://www.pref.mie.lg.jp/eco/policy/43526013585.htm>



世界遺産 熊野古道 伊勢路



大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパーク

SDGsへ向けたESD推進のための教育現場の実態把握と連携強化（ヒヤリング調査）

① 専門家への包括ヒアリング(案)

- ・ 名古屋市立大学 伊藤恭彦先生、松村智史先生
高等学校の探究学習とESDについて、を中心に
2025年5月21日実施

② 教育部局、教育員会、現場の教員等(2名)

- ・ 検討中

③ 中小企業の経営者等(2名)

- ・ 検討中

- ・ SDGs取組、ESD実践の推進状況に詳しい専門家に包括的ヒアリングを行い、専門領域との連携強化を図る。（1名）
- ・ SDGsを推進しようとする教育部局、教育委員会、現場の教員等を対象としてヒアリングを実施し、実態把握及び次年度の事業に向けた実施手法、連携の情報収集を行う。（2名）
- ・ 中小企業の経営に沿った観点からのESD促進を図るため、経営者等を対象としたヒアリングを実施し、情報収集を行う。（2名程度）

●高校の探求学習関係者へのヒアリング(4件、検討中)

- ・ 名古屋市立の高校における探求学習(？)
- ・ 富山県上市高校(？)
- ・ 岐阜県立斐太高等学校(？)、高山工業高校(？)

令和8年度に向けて実施可能な高校、ニーズをヒアリング等で把握する(2校程度)。あわせて、学校及び企業との連携促進の観点から、地域内やオンラインで開催される「教職員等環境教育・ESD推進リーダー養成研修」に参加する(1回、1名程度)。